

# 市議会 12月

# 日本共産党市議団の質問 議会傍聴に来てください

# 豊田民報

豊田市12月定例会市議会が12月1日に開会。会期は、12月18日までの約3週間です。日本共産党の大村よしのり市議、根本みはる市議は一般質問や議案質問で、市民の声をもとに市政に提起します（下記日程参照）。2人の市議が通告した一般質問の概要をお伝えします。ぜひ傍聴にお越しください。

日本共産党豊田市委員会  
◆豊田市日之出町一六六  
Tel: 三四・四七二  
毎週一回発行



大村よしのり市議  
午前の1人目

12月6日(水)  
午前10時00分頃

①トヨタテストコースによる環境への影響と対策について  
②テストコース事業の進捗と市の関連事業の財政支出について



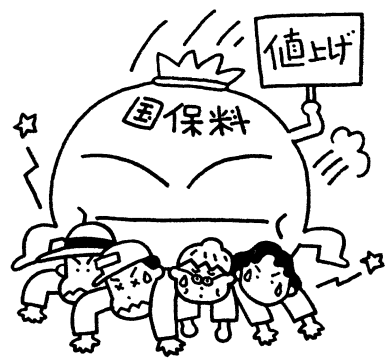
根本みはる市議  
午後の5人目

12月5日(火)  
午後4時00分頃

①「県単位化」でも国保税は据え置きを  
②来年度の国保税の収納必要額の算定に伴って、一人あたり国保税の金額の算定を質問します。そのうえで、高すぎる国保税を値上げしないように、少なくとも「据え置き」にするように市の判断を問います。  
③一般会計からの法定外繰り入れについて「他の保険の加入者の税金を繰り入れするのは、二重負担だ」とする意見が出されている事に対して、国保は社会保障の一端であるという国保法の原点から市の認識をただします。  
④滞納世帯の拡大に伴い、生活を維持できる納付相談と機械的な

①トヨタテストコースによる環境への影響と対策について  
②テストコース事業の進捗と市の関連事業の財政支出について  
③テストコース区域内の水田の保全について、生物多様性の保全に配慮する角度から質問します。  
④テストコース区域内にある花山湿地の保全とレッドデータブックの策定を提案します。  
⑤造成工事に伴って拡大しているイノシシ・シカなどの獣害被害とその対策について提案します。

②放課後児童クラブの民間委託の検証と改善を  
①民間委託が進む中、市直営で行う児童クラブを確認します。  
②民間委託によって支援員の確保の課題が解消したのか確認しつつ、民間委託によって、



差し押さえを行わないように提案します。

「下山の湿地観察」でのモウセンゴケの花(下山谷津田・自然観察会のブロックより)



支援員の処遇(有給休暇、賃金)はどのように変わるのかを質問します。  
③子どもの生活の場を保障する児童クラブとして、民間委託の検証をおこない、直営に戻すことを求めます。  
④トイレ、手洗い場、休息スペース等の放課後児童クラブの施設の改善を求めます。



②学校で「先生が足りない」現状と対策について  
①担任の先生の産休・育休・介護・病気などに伴う先生の「欠員」状況について質問します。  
②対応を学校現場まかせにせず、教育委員会として対応する事を提案します。必要数は、ある程度予測する事ができるはずなので、市の常勤講師の採用による「プール制」を導入する事を提案します。





# 新年度の市予算要望書提出 市長と懇談、市民の願いに込めて



置、医師不足が深刻であり、足助病院等への医師の確保を要望。根本市議からは、中央図書館の指定管理者制度をやめ、市直営に戻すことの要望が話されました。

田中氏からは、市の南部で念願の総合病院（民間病

日本共産党豊田市委員会は先月28日、2018年度の予算に対する要望書を提出し、太田市長と懇談を行いました。要望書は、市民の生活・福祉・教育を重視し、地方自治の基本原則に立って「住民の便宜および福利増進」を図ることを求めるもので、17の部局全体に関わり、市民から頂いた意見を直接届ける内容です。市議団と衆院選愛知11区候補として奮闘した本多のぶひろ氏、市委員の田中勝美氏が同席しました。

大村市議からは、学校のエアコン設置、特別支援学校の設

院）が来年4月開院に向けて工事が進み、市民から期待が広がっているが、救急体制を整備するための市の補助が全く無く、安城市では八千代病院に市が支援をして医療体制を拡大していることをみても格段の差があると訴えがありました。本多氏からは、こども園給食の民間委託などによって、働く人たちの非正規化が進んでいく心配があり、労働条件の改善を求めつつ、市が責任を持って行うべきとの意見が述べられました。

# 平和と民主主義・革新統一 豊田革新懇が総会を開催

豊田革新懇（平和と民主主義・革新統一をすすめる豊田懇談会）の総会が先月25日、市内で開かれました。

第1部でDVD「高江 森が泣いている2」を視聴し、沖縄県北部の米軍ヘリパッド建設による森林伐採と住民の抗議行動に思いを馳せました。会場から、名護市長選、県知事選への支援の訴えがありました。

第2部で、住みよい豊田を創る会の予算要望の取り組みや改憲NO3000万署名行動、脱原発などを求める運動を交流し、新年度の活動方針案を承認しました。



先の衆院選で日本共産党の本多のぶひろ11区候補は市民連合@愛知の応援を受け、去年の市長選では、社民党豊田支部、元県会議員と日本共産党が、市政改革を訴えた田中候補を推薦し、善戦しました。

これらの経験も踏まえて、市民との共同・野党共闘で安倍9条改憲NO署名の取り組み等を大きく広げていこうと話しました。

## あの日から6年8か月

# さよなら原発豊田市民行動

福島原発から6年8か月。

安倍内閣・東電は「復興は進んでいる」と言いますが、しかし、ほとんどの住民が帰れず、避難生活を強いられているのが実態です。それでもなお、再稼働を推し進める政府。怒りの行動は、原発がなくなるまで続きます。行動の時間帯が変更となりますので、みなさん、ご参加ください。

### 12月9日（土）

午後1時30分～市駅マック前広場で集会  
パレード



## 日本共産党 新春のつどい

### 2018年1月14日（日）

午後1時30分 開場 豊田市福祉センター  
午後2時 開会  
主催：日本共産党豊田市委員会  
同 後援会